

# 俳句甲子園メール

2018年小雪号

No.029

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 (E-mail:info@haikukoushien.com)  
 〒790-0814 愛媛県松山市味酒町1丁目10-2  
 TEL:089-943-1512(平日13:00~17:00) FAX:089-948-4819  
 松山市役所 文化・ことば課 (E-mail:bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp)  
 〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2  
 TEL:089-948-6952(平日8:30~17:15) FAX:089-934-1287

新たな歴史を刻んだ第21回大会も幕を閉じ、俳句甲子園は次の大会に向けて進んでいます。第21回大会の歴史を印す公式作品集が完成いたしましたので、ぜひ手に取っていただけたらと思います。

1つ目のディベート企画。この企画の担当をしてくれたのは現在大学1年生の三嶋浩樹さん。作品集という媒体の性質上、俳句甲子園の大きな要素であるディベートをそのまま掲載することはできません。そこで俳句甲子園出場経験のある方のノートを掲載し、選手たちがどのような準備をしてディベートに挑んでいるのかに焦点を当ててくれています。ノートだけでは伝わらないディベートの技術について、インタビュアーを通じて明らかにしてくれまし

皆さまにお届けしている作品集ですが、毎年新たな企画に挑戦しています。今回の新企画は2つです。1つ目が「ディベートを覗いてみました」と「ディベートを訊いてみました」のディベート企画、2つ目が「きみたちの声を聴いて」です。

今回は洛南高校OBで、俳句甲子園公式作品集製作委員の谷口理文さんに公式作品集の見所を纏っていただきました。

# 公式作品集第7号、ここが見どころ！

た。

2つ目の企画、「きみたちの声を聴いて」。編集長の青山ゆりえさん立案の企画です。俳句甲子園は20回を超え、俳句の世界でも影響力のある大会となりました。21回という次の一歩へ踏み出す大会の開催に合わせて俳句甲子園のこれからについて考える企画が必要だ、という思いからこの企画は出来上がりしました。池田澄子先生を始め、著名な俳人の方々にも寄稿いただいたという大変意欲的な企画になっています。

以前からの目玉企画である



「夏を終えて」に変わって、10ページにポリウムアップ。カラーページでは、初めて地方大会を含めた全選手の写真が掲載されています。また、カラーページの最後に掲載されたフェアウエルパーティーの集合写真にも注目です！

高校生参戦記はタイトルを「夏を終えて」に変えて、10ページにポリウムアップ。カラーページでは、初めて地方大会を含めた全選手の写真が掲載されています。また、カラーページの最後に掲載されたフェアウエルパーティーの集合写真にも注目です！

## 第21回俳句甲子園公式作品集

【内容】

○作品集史上初、ディベート談義&試合用ノート公開！

○地方大会全国大会に提出された高校生の全作品

○「カラーページ」地方全国を綴る！〜そして物語となる〜

○「特別インタビュー」星野高士審査委員長 過去の作品を振り返り「その先の俳句甲子園へ」

○俳句甲子園OBOGが「全国大会・地方大会作品をよむ」

○高校生の大会参戦記「夏を終えて」

○地方大会の佳作を発掘「きみたちの声を聴いて」

【価格】1,000円(税込)

【購入方法】NPO法人俳句甲子園実行委員会ホームページ

(<http://www.haikukoushien.com/>)から購入できます

じていただければ幸いです。  
 第22回の俳句甲子園まで残り9か月となりました。編集部はまた来年に向けてスタートを切っています。俳句甲子園はもちろんのこと、編集部へも応援よろしくお願いいたします。